

全国大会出場おめでとう

第19回CSC3時間耐久一輪車レース大会



江上 琳夏さん
(市江小学校・西條町)



江上 煌太郎さん
(佐屋中学校・西條町)

清瀬杯第56回 全日本大学選抜準硬式野球大会



岡山 央河さん
(日本福祉大学・大井町)

第66回全国高等学校 ホッケー選手権大会



岡山 萌愛さん
(名古屋市立名古屋商業高等学校・大井町)

令和6年度全国高等学校総合体育大会陸上競技大会



小島 譲さん
(中京大中京高等学校・草平町)



天願 凌太さん
(中京大中京高等学校・柚木町)

第35回全国都道府県 中学生相撲選手権大会



加藤 綾真さん
(佐屋中学校・甘村井町)

マルハングループインビテーション 大倉カップ 第50回全日本選手権大会(硬式野球)



小西 琉斗さん
(佐屋中学校・西保町)

お知らせ

暮らしに便利

あいさい見聞録

健康ガイド

スポーツ

イベント

子育て1・2・3

あいさい見聞録

その54
愛知県の西端・長良川



かつて木曾・長良・揖斐川は、合流分流を繰り返していましたが、明治時代の三川分流事業によって長大な堤防や背割堤が築かれ、三本の川に分離されました。それ以前の長良川の流れが愛知・岐阜県境であり、東海大橋付近では、現在の木曾川が県境です。しかし、南下すると海津市にある長良川サービスセンター東側の長良川が県境になります。そして、この長良川が愛知県最西端となります。このため、背割堤の上に県境道標が立っています。周囲に何もない堤防上にポツンと道標だけが立っている風景は、不思議で面白いと思います。

川は、レガッタなどスポーツの競技場になりました。毎月、愛西市のレガッタ練習会が実施されており、2026年にはアジア競技大会が開催されます。機会があれば、愛知県の最西端付近に位置する背割堤を散策してみたいかがでしょう。

ところで、この背割堤上で木曾・長良川を見ると、川の風景の違いが際立ちます。すなわち、長良川には下流に河口堰があるため、通常時は、水位はほとんど一定であり、また、流れが穏やかです。一方の木曾川は、水位は刻々と変動しており、また、流れも絶えず変化しています。



立田大橋から
約5km上流の地点



立田大橋から
約2km上流の地点

問 市観光協会 ☎(55)9993